

# 景観解析学研究室

## STAFF

准教授 橋本 啓史  
緑地環境学、緑地植物学  
ランドスケープ・デザイン学  
ランドスケープ・デザイン学特論(大学院)  
緑地学特論(大学院)

助教 檜崎 友子  
生物統計学、景観解析学、環境システム学  
海洋動物学(予定)  
動物生態学(予定)



准教授 橋本啓史



助教 檜崎友子

## 研究テーマ

景観を様々な視点やスケールで解析し、人と自然との共生を目指す

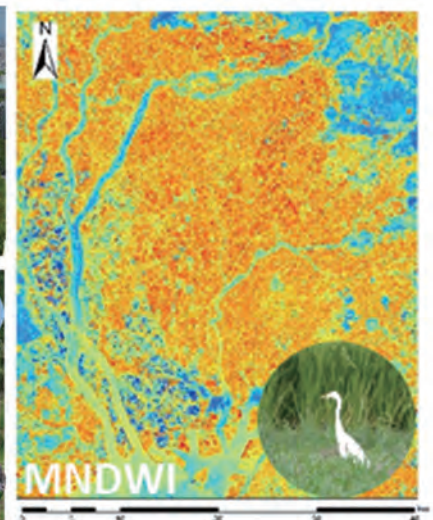
## 研究内容

都市緑地や里山などの身近な環境から、海洋のような地球規模の自然環境までもが研究対象です。人だけでなく野生動植物などにとってもすみやすい景観とはどのようなものかをリモートセンシングやバイオロギング、統計モデルやGISといった様々な手法を駆使して明らかにし、生物・人・自然の調和の道を模索していきます。

## 都市の緑化・公園計画

## 土地利用や景観の 歴史的変遷の把握

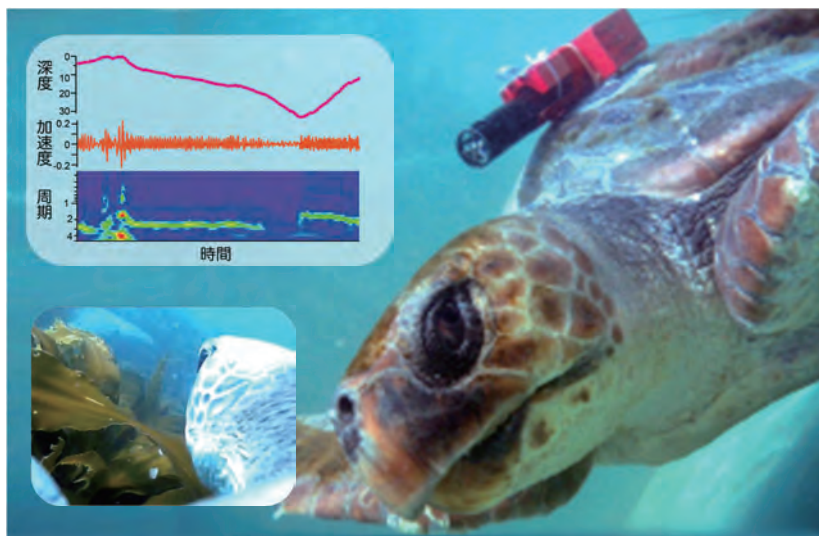
## 野生動植物の 生息・生育条件把握



## 動物目線で探る 行動・生態・生息環境

## 人間活動の影響評価

## 自然との共生 景観保全



## 最近の主な論文・著書 / 著者論文名等

- 橋本啓史 (2022) 鳥類を指標とした都市の景観生態 (日本景観生態学会(編)『景観生態学』, pp246, 共立出版), p143-145
- 橋本啓史・多和加織・松浦文香・長谷川泰洋 (2021) 近代以前の熱田神社社叢の林相の変遷. なごやの生物多様性 8: 23-36
- 須川 恒・橋本啓史 (2017) 水鳥の現状とその変遷 (西野麻知子・秋山道雄・中島拓男(編)『琵琶湖岸からのメッセージ 保全・再生のための視点』, pp248, サンライズ出版), p175-193
- 檜崎 (2022) ウミガメはクルクル回る - 大型海洋動物に共通してみられる旋回行動を発見. Marine Turtler 33:4-6
- Narazaki T, Nakamura I, Aoki K et al. (2021) Similar circling movements observed across marine megafauna taxa. *iScience*, 24(4):102221
- Narazaki T, Isojunno S, Nowacek DP et al. (2018) Body density of humpback whales (*Megaptera novaeangliae*) in feeding aggregations estimated from hydrodynamic gliding performance. *PLoS ONE*, 13(7): e0200287